



「道の駅」による 地域活性化シンポジウム

～イザベラ・バードとの連携を考える～ in山形



日時 令和2年3月10日(火)

シンポジウム 14:30(開場14:00)～17:00

会場 道の駅・いいで 2階コンベンションホール
山形県西置賜郡飯豊町大字松原1898

入場無料

写真提供:(一社)やまがたアルカディア観光局

PROGRAM

シンポジウム

14:30～17:00



田園散居集落 (写真提供:飯豊町役場)



写真:日光金谷ホテル蔵

基調講演

筑波大学名誉教授

石田 東生氏

「道の駅」好事例紹介

道の駅・ばんだい 駅長

斎藤 治仁氏

パネルディスカッション

●コーディネーター

石田 東生氏

●パネリスト

特定非営利活動法人 東北みち会議 理事長

鏡 啓記氏

道の駅・ばんだい 駅長

斎藤 治仁氏

(一社)やまがたアルカディア観光局職員

布川はるか氏

山形県 県土整備部長

角湯 克典氏

山形県飯豊町長

後藤 幸平氏

主催:シンポジウム実行委員会

東北地方整備局山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所

山形県、飯豊町

山形「道の駅」連絡会、山形県「道の駅」駅長会

東北「道の駅」連絡会、(一社)東北地域づくり協会

後援:(一社)全国道の駅連絡会、山形新聞・山形放送

同時開催

イザベラ・バードパネル展



PROFILE



筑波大学 名誉教授、一般財団法人日本みち研究所 理事長 石田 東生 氏

昭和57年筑波大学社会工学にて教員、平成29年退職。主な社会活動として、内閣府 未来投資会議 次世代モビリティ産官協議会、国土交通省 社会資本整備審議会 会道路分科会長、道の駅有識者懇談会 座長を務める。専門は、社会資本政策、交通政策、国土計画。



道の駅・ばんだい 駅長 齋藤 治仁 氏

福島県出身。齋藤駅長は、戊辰戦争で会津藩が移り住んだ青森県むつ市、磐梯町と姉妹都市を結んでいるカナダのオリバー市、町と名前がおなじ玩具メーカーの「バンダイ」と、それぞれのコーナーにて「道の駅」との交流に取り組む。また福島県会津地域に15か所ある「道の駅」が組織する、あいづ「道の駅」交流会代表も務める。交流会は個々の「道の駅」が点として頑張るだけでなく、「道の駅」や駅長ががっしりスクラムを組むことが重要と考え、活発に活動している。



特定非営利活動法人 東北みち会議 理事長 鏡 啓記 氏

秋田県出身。元無明舎出版編集長、特定非営利活動法人東北みち会議理事長（仙台市）、羽州街道交流会代表幹事、ほか。東北各地において、街道、北前船、イザベラ・バード、道の駅などに関連した、地域資源を活用する活動を行っている。また、東北の道の駅164駅が加盟する東北「道の駅」連絡会事務局長として、「道の駅」の活性化、協働事業の推進、全国に向けた情報発信などに努めている。著書として『北前船おっかけ旅日記』、編著に『イザベラ・バード紀行』『北前船 寄港地と交易の物語』『奥州街道』『羽州街道をゆく』など多数。



一般社団法人 やまがたアルカディア観光局職員 布川 はるか 氏

山形県出身、長井市役所に入庁。観光振興課に配属され長井のDMO立ち上げを担当。道の駅・川のみなと長井内に事務所を置くDMO事務局に出向しながら、長井市、南陽市、白鷹町、飯豊町2市2町の観光振興を進めている。南陽市にある熊野大社の巫女体験の企画をするなど、若い女性ながらの目線で、地域資源を観光に生かすアイデアを提案している。



山形県土整備部長 角湯 克典 氏

大阪府出身、平成3年建設省入省。平成26年日本みち研究所研究理事、平成28年国土交通省総合政策局公共交通政策部交通計画課地域振興室長、平成29年山形県県土整備部長。



一般社団法人 全国道の駅連絡会 理事、山形県飯豊町長 後藤 幸平 氏

山形県出身、昭和49年マルシチ米穀に入社。「米と自然の探遊館」の建設や「生産者の顔が見える米」の販売など、精力的に飯豊産米のピーアールと販路拡大に努める。また、町教育委員、町振興審議会委員、町農政審議会委員、町商工会理事などを歴任し、教育から産業まで幅広く町の政策や課題に意見をのべてきた。「フロンティア飯豊・ふるさと新時代」との目標を掲げ、町長選挙3選を果たす。